

成果報告書

担当者：菅原大輔、渡邊篤、山本信次

講座名：フィールドセミナー「ウォッチングビンゴをしながら親子で楽しむ秋の森」

実施日：平成 30 年 11 月 11 日（日）

受講者数：14 名

定員数：20 名程度

目的

ネイチャーゲームのひとつである「ウォッチングビンゴ」を親子で取り組んでもらい、秋季の林内において動植物の発見や魅力を体感してもらう。また、この体験を通じて市民の方々に岩手大学演習林に親しみを持っていただけるようにする。

活動実績

場所：滝沢演習林

講師：浅沼 晟吾 氏

紅葉が終盤となった滝沢演習林でフィールドセミナー「ウォッチングビンゴをしながら親子で楽しむ秋の森」が開催されました。

当日 3 名のキャンセルがあり計 14 名の参加者（子共 3 名）となりました。

散策コースは例年と同様に 10 林班広葉樹見本林まわりの林道及び国土交通省の四十四田ダム巡回路を歩きました。

セミナー序盤ではホオノキやコブシ、サンショウの切った生枝を参加者に配り、すがすがしい木の生きた香りを体感してもらいました。また、ウダイカンバやシラカンバ、クヌギなど樹皮に特徴のある樹木を説明すると、参加者の方々は散策路から見える広葉樹を指さして樹種を聞くなどとても興味深く周囲を観察されていました。

林内の紅葉は散り始めており道上を落葉が埋め尽くしていましたが、その中鮮やかな紫色のガクをつけたクサギの実には大人も子供も綺麗な色だと感心していました。また、浅沼氏のご自身でクサギの実で染めた『クサギ染め』のハンカチは淡い青緑色で、現在の見た目の色とのギャップに驚かれる方も多くいました。

終盤はダム巡回路に入っの散策で、南部藩時代から残るクヌギ林の歴史について触れたり、倒れたサクラから多数生えるムキタケを発見したりしました。

次回の春のフィールドセミナーにも参加したいとの声があり、参加者にとって充実したセミナーだったことが感じられました。

今後の課題

集合場所の事務所から散策コース入り口まで演習林の作業車を 2 台使用して移動していましたが、今回現場作業の関係で 1 台のみとなってしまい職員の私用車を使用しつつ参加者に狭いと

ころを乗り合わせての移動となってしまいました。事前に参加者名簿と作業車の配置の確認を早めに行う必要がありました。